

* 深よみめんこちゃん *

深堀保育園で過ごすめんこちゃん達。今回は、うさぎ組とぱんだ組のクラスから
よみ解き、深堀していきます

～うさぎ組～
「ぼくの！わたしの！」



箱を見つけると中に入ってゆっくりしている子ども達。落ち着く、自分だけの場所、安心するという気持ちがあるようです。この日も箱を見つけてゆっくりしていた2人、箱が隣同士であることに気がつき、お互いを見つけると目を合わせてにっこり。それぞれが喃語や簡単な言葉発していて、なんだかとても楽しそうです。このあと2人はK君が指さした方を一緒に見ていました。明確な言葉はなくても一緒に過ごしてきた仲間に関心を感じ、親しみや心地よさを感じているのかなと思えた一コマです。子ども達に芽生えた周りへの関心の気持ちを大切にしながら、状況に合わせて仲立ちしたり言葉を補ったりして子ども同士の関わり合いの育ちに繋げていきたいと思っています。

～こんなふうにそだってほしいな～
身近な人や子ども同士での関心の気持ちを大切にしながら、関わる心地よさを
味わって欲しいなあ！



～ぱんだ組～
「音がする
音がする」



お皿をひっくり返し、スプーンをばちに見立てて太鼓のように音を鳴らすSくん。体を揺らし、リズムに乗りながら叩いている姿をみて、Rちゃんも使っていたボウルをひっくり返して側に近寄り、一緒に音を鳴らし始めました。

たたく強さで音の大きさが変わることや、たたく物の性質によっても音が変化することなどに気づき、より音を奏でる楽しさを感じられたらいいなと思いました。

また、友達と一緒に音を出している姿から、簡単な楽器作りを考え、自分で作った楽器を使って音を出したり、ごっこ遊びにつなげたりして遊びを発展させていきたいと感じました。

～こんなふうにそだってほしいな～
自分で作った楽器を使って音楽遊びや友達と一緒にごっこ遊びができるよう
成長していった欲しいなあ！！